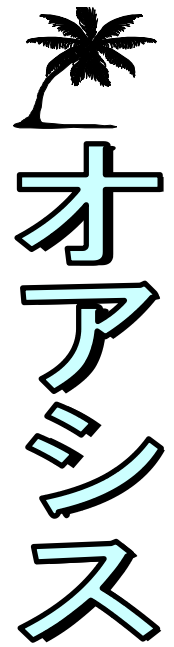


# 進めていこう非正規春闘

日立ジョンソンコントロールズ空調  
と関連会社で働く  
人のネットワーク



2024年2・3月

No. 101

発行：オアシス

編集委員会

連絡先：多田義幸

TEL

090-9121-0602

春闘における処遇改善は、これまで主に正規労働者の組合を中心に行われてきました。その結果、パート、契約社員、派遣社員などの非正規労働者の賃金の改善はほとんどなされてきませんでした。猛烈な物価上昇が続く中、このままでは生活できないと「非正規春闘実行委員会」が、昨年立ち上げりました。

## 非正規春闘実行委員会

非正規春闘実行委員会は、ナショナルセンター（労働組合の中央組織）の垣根を越えて、非正規労働者らをよく組織する個人加盟労組が中心です。北海道や宮城、新潟、名古屋、大阪などの全国各地から20労組が参加しています。今年は3万人超の非正規労働者を組織する生協労連も加わりました。

## 春闘要求

今年の春闘では、以下を要求しています。

- ① 一律10%以上の賃上げ
- ② 正規と非正規の均等待遇
- ③ 全国一律最低賃金1500円の即時実現

今年の非正規春闘では、2月8日時点で38社に対し10%以上の賃上げ要求を提出することが示されました。また、今からでも非正規春闘実行委員会へ相談すれば、勤務先企業への要求提出から団体交渉までサポートする体制を組むとのことでした。

## 昨年春闘の実績

非正規春闘の昨年の実績ですが、飲食店やスーパー等の36社と賃上げを求めた団体交渉を実施しました。

その結果、都内の飲食店で時給2百円アップ、スーパーで非正規労働者9千人に5・44%の賃上げ、靴販売店で非正規労働者5千人に6%の賃上げ等を実現しました。

その中で、たとえば、昨年6%の賃上げを実現した靴小売大手・ABCマートとの賃上げ交渉では、初回交渉では、会社側は一切賃上げをしないという回答でした。そこで、労働組合員の女性（ABCマートで働くパート労働者）が15分間のストライキを行うとともに、そのことをSNSやマスコミを通じて広く情報発信をしました。すると、会社側は二度目の団体交渉では当初の姿勢を変え、賃上げを行うと回答しました。ただ、賃上げ率については労使で隔たりがあったため、労組側は再度ストライキを行うことを予告して三回目の団体交渉に臨みました。三回目での交渉の席では、会社側は6%まで賃上げ率を引き上げる旨を回答しました。そこで、労使は合意に至って労働協約書も締結し、結果的に約5千人のパート・アルバイトの時給6%増を実現しました。

## 正社員組合の支援

昨年の実績を背景に、24年春闘では、要求実現の輪を広げたいとの事です。しかし非正規の人が少数で行う運動には多くの困難があり、簡単に賃上げできるわけではありません。このような非正規労働者の粘り強い春闘に、正社員を中心とする組合が、どのような支援を行えるのか、労働者の連帯が問われています。